

NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

No. 1.423

Sábado, 19 de Fevereiro de 1938



聖地
セントラル
十六番地
郵函二七五六
發行人 香山六郎
廣告料 一年三〇針
一段七二針
NOTICIAS DE S. PAULO
Celta, 2165 - Fone. 16
R. ASSEMBLEIA, 16
S. Paulo - Brazil

リリー香油

| |
|----------------|
| 内奏して、右豫算概数は左の |
| 總額四十八億五千万円 |
| 右内譯 陸軍省三十三億五 |
| 千円、海軍省十億五千萬 |
| 円、大藏省所費豫算費五億 |
| 五百萬円 |
| 商本年一月末までの臨時軍事 |
| 軍省四十九億八千六百万円、陸 |
| 海軍省十五億四百萬円、豫 |
| 備費九億円 |

通りである

六百円、海軍省四億五千四百

万円、豫備費三億五千四百

であるから之と今回の追加預

務は認めるが然し現在のと

ころ欧洲も東洋も大洋を渡つ

米國沿岸に進出する

ことは明瞭である即ち

國防上もつとも安全

なる地位にある

三、米國がかかる安寧なる

地位に拘るに拘らぬ兩大

洋を同時に守るに足る海軍

力を維持せんとするのは一

民族を本國沿岸に残す者は歐

洲名しくは東洋に進行し居

る力を保持せんとするの

は日本を守るために拘らぬ

兩洋を守備せねばならぬ任

務は認められるが然し現在のと

ころ欧洲も東洋も大洋を渡つ

米國沿岸に進出する

ことは明瞭である即ち

國防上もつとも安全

なる地位にある

四、現在日本は至つ近い

距離即ち浦島に居る

船のためハリオラ港在中の印

第十七回委員會を開催十九日

に開會附議すべき新憲法執行

のためハリオラ港在中の印

第十七回委員會を開催十九日

